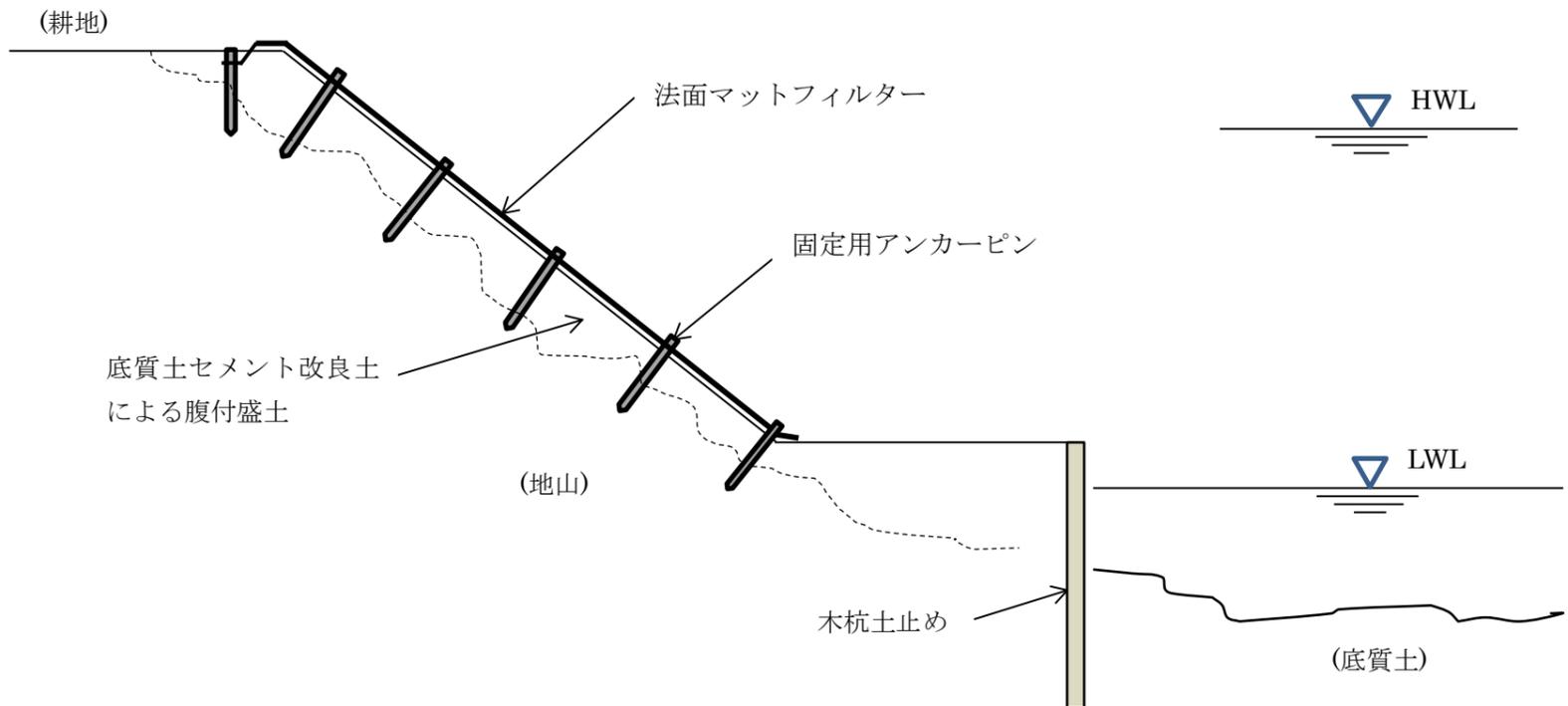


農業用水路の整備

発注者：神崎市(佐賀県)
工事名：神農工第24号 土地改良モデル整備工事
施工日：平成25年3月



法面マットフィルターの施工完了 (種子散布なし)

経年的に、波浪や降雨の繰り返しにより崩れた農業用水路の法面に対して、水路の底質土とセメントを混合した改良土を用いて、腹付盛土をした。
次に、その腹付盛土の表面に、法面マットフィルターを布設した。



施工後2ヶ月 経過状況

施工後2ヶ月経過(4月)し、法面の侵食等の変状は見られない。
法面マットフィルターの施工によって、盛土がより安定するとともに、適度な水分が保持されることから、種子の散布は行っていないが、底質土に含まれている埋土種子の発芽が見られる。
法面マットフィルターの編み目構造は、強度発現と植物の生育に有効な構造となっている。



施工後5ヶ月経過(7月)し、法面の侵食等の変状は見られない。
 水位が満水位近くまで上昇し、法面マットフィルター施工法面の下位約半分が冠水している。

施工後5ヶ月、満水状態



底質土セメント改良土のみの箇所は、表面に収縮亀裂が顕著に発達し、波浪や乾湿の繰り返しによる影響を直接受けやすい。所々に亀裂面からの表面剥離が見られる。

← 【底質土セメント改良土の表面】 収縮亀裂が顕著に発達
 【法面マットフィルターの施工】 →

神埼市内 降雨量 (平成25年3月~7月)

